

令和元年 5 月

大野市教育委員会定例会
会議録

日 時：令和元年 5 月 27 日（月）午後 3 時 30 分～午後 5 時 15 分

場 所：大野市役所 大会議室

大野市教育委員会 5月定例会 次第

令和元年5月27日(月)

午後3時30分～ 大会議室

1 開会

会議録署名人 洞口委員 關委員

2 4月定例教育委員会の会議録の承認について

3 教育長重要事項報告

4 議事

議案第21号 大野市文化施設周遊ツール企画制作プロポーザル審査委員会設置要綱案

議案第22号 令和元年度福井県義務教育諸学校教科用図書採択奥越地区協議会の設置及び協議結果に関する決議について

議案第23号 令和元年6月大野市議会定例会提出議案(補正予算案)について

議案第24号 大野市本願清水イトヨの里運営協議会委員の選任について

議案第25号 大野市生涯学習推進会議委員の選任について

議案第26号 大野市社会教育委員の選任について

5 付議事項

1) 6月の行事予定について

資料1

・6月定例教育委員会 6月26日(水)午後3時30分から 談話室

6 その他

1) 5月の業務報告について

資料2

2) 教育環境に関する意見交換会開催日程について

資料3

3) 指定学校変更許可について

4) その他

7 閉会

<出席者>

	教育長	久保俊岳
	職務代理者	洞口幸夫
	委員	關園子
	委員	麻生博之
事務局（説明者）	事務局長	清水啓司
	教育総務課長	横田晃弘
	学校教育審議監	千田佐
	生涯学習課長	中村吉孝
	生涯学習課スポーツ振興室長	多田直人
	文化財課長	佐々木伸治
（書記）	教育総務課企画主査	竹田雄次

<傍聴者>

2人

【開会】

【教育長】ただいまから大野市5月定例教育委員会を開会する。

——<大野市教育理念の唱和>——

【会議録署名人】

【教育長】本日の会議録署名人は、洞口委員、關委員にお願いします。

【4月定例教育委員会の会議録の承認について】

【教育長】次第に基づき会議に入る。4月定例教育委員会の会議録の承認について、事務局の説明をお願いします。

——<書記説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】4月定例教育委員会の会議録については、提案どおり承認する。

【教育長重要事項報告】

【教育長】先般開催した結の故郷教育シンポジウムについて、私の思いを話すとともに、皆さんの意見をお聞きしたい。5月12日（日）に文化会館で、150人に参加いただき結の故郷教育シンポジウムを開催した。私からは、子どもたちの自尊感情（自信）を育める学校づくりを基盤に、安心して通える学校づくり、体力や感性を含めた学力を育める学校づくりを目指したいと話をした。その後、福井大学の松木副学長からは、知識基盤社会に生きる子どもたちが育つ学校を創ろうということで、社会がどのように変化しているのか、そこに求められる教育とはどういうものなのかということ、広い視野から理論的に話していただき、私も大変勉強になった。大野のことを考えるに当たり、自分の固定観念だけにとらわれず広く生きることの重要性も感じさせられた。そういう中で、子どもたちにとって、どういう教育環境が望ましいのかということ考えた。

その後のパネルディスカッションでは、5人のパネリストに色々な立場からお話をいただいた。特に印象に残ったのは、和泉小中学校から参加いただいた巢守さんの「小規模校の長所と短所を、長い間、自分のこととして考えてきたが、結局、結論は出なかった」という話だった。今の大野が抱えている課題を象徴するものであると思う。ただ、昭和40年代に学校再編が進められ、それに次ぐ第2波が来ていることは確かなことであり、これをしっかりと受け止めて、大野の英知を結集して、皆がある程度納得できる納得解を探していきたいと考えるので、協力のほどよろしく願います。皆さんの意見もお聞かせ願いたい。

【麻生委員】子どもたちをいかに育てるかということを考えることが、私たちの教育にもなり自分も育っていくのだと感じた。また、大野の人は奥ゆかしいと言われるが、パネリストの方たちには強い思いがあり、都会の人に負けない発表力があると感じた。意見を発表する機会を設けることが重要だと思った。

【關委員】松木副学長の話聞き、色々な角度から物事を見ることの大切さを改めて感じた。学校だけではなく、地域のお年寄りや保育園等色々なものを含めて考えていくという方法を聞き、皆が色々な方向で考えていけば、良い方向に進むのではないかと感じた。また、パネリストの巢守さんと同じように、保護者として考えると、新しい学校はいいなと感じる思いと、自分の子どもが入ってみると小規模校もいいなと感じる思いで心が動くというのもよく分かると思った。どういう形であれ、皆が良くしていこうという方向で考え、それをうまくまとめていけば、良い方向に行くのだろうと感じた。また、最後に子どもに関する不安についての質問が会場から出たときに、教育長が「1人も取りこぼさないでしっかりと考えていく」と答えたことがとても嬉しかった。

【洞口委員】参加者が150人というのは、非常に寂しかった。もっと多くの方が学校再編について考えるべきだと思った。しかし、松木副学長がうまくまとめてくださり、あの考え方もっと多くの市民が知れば、大野の学校教育はもっと変わるだろうと感じた。パネリストの皆さんは事前に色々と考えてきていたが、その考えだけにとらわれることなく、新たな考えを引き出す松木副学長の進行は素晴らしかった。

私の教員時代は、子どものことは一生懸命考えていたが、学校がどうあるべきか複式学級はどうかというようなことは考えていなかった。現在、小学生、中学生、高校生の孫と一緒に生活しながら、やはり、子どもたちにとってどのような教育環境が良いのかということを実際に考える必要があると思うようになった。自分なりにさらにしっかりした考えを持って学校再編に立ち向かっていかなければならないと思った。

【教育長】私も参加者が150人というのは少ないと感じた。今後40カ所程度の意見交換会を開催しながら、粘り強く一緒に考えていきたいと思う。

【議事】

【教育長】議案第21号 大野市文化施設周遊ツール企画制作プロポーザル審査委員会設置要綱案について、事務局の説明をお願いします。

——<文化財課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

【關委員】第3条に委員の区分が記載されているが、第5号の教育委員会が必要と認める者という区分について、どのような人に委嘱を予定しているのか。

【文化財課長】未定であるが、事業を広く進めるために、例えばデザインに詳しい人が必要であれば、そのような人を委員に委嘱したいと考えている。

【關委員】観光業関係団体、博物館関係団体、市職員、教育委員会事務局職員というのは、これまでの委員会と同じような人が多くなると思われるので、デザインや集客のために色々なアイデアを考えられる人が入るのは良いと思う。

【文化財課長】事業が広がるような委員構成を考えていきたい。

【教育長】事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】議案第21号については、提案どおり承認する。

議案第22号 令和元年度福井県義務教育諸学校教科用図書採択奥越地区協議会の設置及び協議結果に関する決議について、事務局の説明をお願いします。

——<審議監説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

【麻生委員】教科用図書採択奥越地区協議会ではどのように議論を進めるのか。

【審議監】教科用図書の採択に当たっては、各教科に2人の調査員が選定され、調査員の調査に基づいて2回の会議を行い、2回目の会議で採択する教科用図書を決定する。

【教育長】事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】議案第22号については、提案どおり承認する。

議案第23号は6月大野市定例市議会へ提案する補正予算案であるため、本日の審議は非公開とし、会議録と資料は後日公表する。また、議案第24号から第26号については、人事案件であり個人情報が含まれるため、本日の審議は非公開とし、会議録と資料は個人情報を除いて後日公表する。

【付議事項】

【教育長】1) 6月の行事予定について、事務局の説明をお願いします。

——<各課室長説明>——

【教育長】 ご意見、ご質問等があればお願いします。

【關委員】 福井県市町女性教育委員の会総会と研修会が6月7日に大野市で開催される。各課室の皆さんのご協力をよろしくお願いします。現在の参加予定者は何人程度か。

【書記】 会員29人中27人が参加の予定である。その他、福井県女性教育委員2人もオブザーバーとして参加予定である。

【教育長】 感性はがき展の募集広報はどのように行っているのか。

【生涯学習課長】 ホームページとフェイスブックで広報しているほか、各関係機関にチラシを配布、学校美術部や過去の応募者にダイレクトメールを送付している。

【關委員】 前回の審査に参加した際に、1人が10点以上応募しているケースが多くあった。応募作品数が多くあった方が良いとも思われるが、1人何点までとしたほうが、応募者が作品を選定して応募してくるので、よりレベルの高い作品が集まるのではないかと思う。ここまで続いているので、作品数にこだわるよりも作品の質にこだわってもいいのではないかと思う。

【生涯学習課長】 絵画や写真というように分野が異なれば、同じ人が複数の作品を応募するのも良いと思うが、同じ分野であれば応募数を制限するのも良いと思う。実行委員会と相談して次回の感性はがき展に向けて検討する。

【その他】

【教育長】 1) 5月の業務報告について、事務局の説明をお願いします。

——<各課室長説明>——

【教育長】 ご意見、ご質問等があればお願いします。

【關委員】 名水マラソンの評判が良いと聞いていたので、どういうところが評価されているのかを確認してきた。市役所のトイレが多く開放されており、女子トイレもあまり並ばずに利用できていた。子育て支援センターや授乳室が利用できるようになっていた。出場者の家族が楽しめるように、観光ボランティアが1時間程度で市街地を案内するおもてなしがあった。名水を提供する場所があった。ソバや飲食のブースがあった。オザキスポーツのブースが賑わいを演出していた。商工会議所法人会のかき氷の振る舞いがあった。このように会場内だけでも皆さんが大会を盛り上げており、コース上の各ポイントにもボランティアや救護隊がいて、ボランティアの対応がとても良いと思った。参加者に聞いたところ、「すべて整っており好印象である」という話を聞いた。自宅に戻ると自宅の周辺に救護隊を待っている人がいたので、急遽、自分もボランティアに参加しようと思い、バケツで打ち水をしたり、ひしゃくで水を渡したりし

たところ、ランナーに大変喜ばれて自分も嬉しくなった。

【教育長】5月の業務報告については、以上とする。

2) 教育環境に関する意見交換会開催日程について、事務局の説明をお願いする。

——<教育総務課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いする。

——<意見・質問なし>——

【教育長】教育環境に関する意見交換会開催日程については以上とする。

次の内容については、個人情報が含まれており、大野市情報公開条例第7条第2号に該当するため傍聴者の退出をお願いする。

——<傍聴者退室>——

3) 指定学校変更許可について、事務局の説明をお願いする。

——<審議監説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いする。

——<意見・質問なし>——

【教育長】指定学校変更許可については以上とする。

【議事】

【教育長】議案第23号 令和元年6月大野市議会定例会提出議案(補正予算案)について、事務局の説明をお願いする。

——<事務局長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いする。

【洞口委員】文化財保存活用地域計画策定事業は3年間で実施するとのことだが、3年間の進め方を教えてもらいたい。

【事務局長】1年目にどのような文化財があるかを拾い上げ、2年目、3年目で拾い上げた文化財をどのように保存し、活用していくかといったことを計画にまとめる。国の補助事業であり、100パーセント補助となっているが、今年度も申請金額が減額されて採択されているので、確かな事業費は言えないが、3年間で2,000万円程度の事業費になると考えている。

【麻生委員】民俗博物館の実施設計経費が計上されているが、基本設計についても経費は発生するのか。

【事務局長】基本設計でおおまかな設計を行い、実施設計で詳細な設計を行う。設計の経費としては実施設計で最終となる。

【文化財課長】基本設計は平成30年度に実施しており、その際に経費が発生している。

【洞口委員】民俗博物館整備事業の事業費が4,992万円とかなり大きい金額に

なっているが、当初予算に盛り込まれなかった理由は何か。

【事務局長】まず、金額について申し上げる。設計に係る経費が1,400万円程度であり、大野市が土地を先行取得するための土地開発基金から土地を買い取るための経費として3,400万円を計上している。当初予算に計上していなかった理由としては、柳廼社と交渉をしており、当初予算の策定段階では交渉結果の方向性が見えていなかったためである。

【教育長】事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】議案第23号については、提案どおり承認する。

議案第24号 大野市本願清水イトヨの里運営協議会委員の選任について、事務局の説明をお願いします。

——<文化財課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】議案第24号については、提案どおり承認する。

議案第25号 大野市生涯学習推進会議委員の選任について、事務局の説明をお願いします。

——<生涯学習課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】議案第25号については、提案どおり承認する。

議案第26号 大野市社会教育委員の選任について、事務局の説明をお願いします。

——<生涯学習課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】議案第26号については、提案どおり承認する。

【その他】

【教育長】その他、何かあればお願いします。

【審議監】大野市小中学校校長会から「教育委員と語る会」について、今年度から隔年開催としたいと提案があった。〈以下、資料に基づき説明〉

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

【關委員】他の市町の教育委員に聞くと、校長会と教育委員の語る会を実施している市町はない。この会自体が必要なのかという思いがある。

【洞口委員】これまでを思い返すと大事な会であったと思う。学校側からは、それぞれの学校運営について話を聞き、教育委員は、それぞれの思いを語ってきた。最近働き方改革ということで、色々なことを廃止、縮小していこうという動きであるが、このような会を持つ時間もないほど校長は多忙であったのかということ疑問視している。自分自身が学校運営を行っていたときは、このようなことはまったく苦にならなかった。むしろ、そういう場があることを歓迎したし、そういう場があるべきだと思っていた。しかし、現場の校長が現在の勤務状況からそのように変えていきたいと考えるのであれば、時代の流れとして受け止めなければならないのかと思う。

【教育長】現場にいた管理職の1人として審議監はどう思うか。

【審議監】私自身としては、年に1回は校長と教育委員が語る場が必要だと感じていた。しかし、語る会と学校訪問を同じ年に開催するのは非常に日程調整が難しいということもあるので、語る会と学校訪問を隔年開催とし、今後も続けてもらえればと思う。

【關委員】教育委員が皆の前で話すという形式ではなく、お互いに語り合うという形式になるとより話しやすくなると思う。

【教育長】教育委員の皆さんの考えを校長会に伝える。教育委員と語る会については、以上とする。

【審議監】本年度の教育計画を配布するので、持ち帰ってお読みいただきたい。

【教育長】スクールプランの前後に校長としての思いを書いてもらうようにしたのでご覧いただきたい。

【洞口委員】校長の思いをしっかりと書くのは素晴らしいと思う。教育計画については、校長や教員がいつも手元に置いて読み返すために、もっと工夫できる点があると思う。事務局でも検討してもらえるとありがたい。

【關委員】校長が自分の言葉で書いた文章は心にストーンと落ちてくる。教育計画の体裁が統一されるとより読みやすくなると思う。

【教育長】教育計画については、以上とする。

【生涯学習課長】前回の定例会で、放課後子ども教室における宿題の取扱いについてお問い合わせをいただいた。各教室の現状を確認したので報告する。宿題については、各教室とも呼び掛けはするが強制はしないという扱いである。最終的には児童の意思に任せている。また、遊んでいる児童に邪魔されずに宿題ができる場所を確保している。宿題の指導はしないということである。

【關委員】場所の確保はして、前半30分程度は静かに宿題等をする時間を設け

ているというように聞いている。

【生涯学習課長】 場所の確保はしているが、時間の指定はほとんどの教室がしていない。呼び掛けはしている。

【教育長】 放課後子ども教室における宿題の取扱いについては、以上とする。

【閉会】

【教育長】 これをもって、大野市教育委員会 5 月定例会を閉会する。

午後 5 時 1 5 分終了

令和元年 6 月 2 6 日

(洞口委員)

(關委員)